

海外研修		実習	国際交流委員会	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの教養 選択科目、スポーツトレーナーコー スの教養選択科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救急救命士コースの教養選択科目		科目ナンバリング	11220134 12220150 13220141

1. 授業のねらい・概要

本講座は、他国の人との交流を通じて異文化を理解し、伝えることの楽しさや重要性を肌で感じ実践することで、積極性を養いコミュニケーション力の向上を図ることを目的とします。また、海外の国際機関、グローバル企業、日系企業、並びに様々な文化施設などを訪問、視察することで、海外の社会・文化・経済状況を実際に自分の目で見て現実を把握し、また一方で現在日本が置かれている状況を客観的に捉え、グローバルな視点を持ったビジネス展開を目指す学生にとって大きな刺激となる機会を提供します。本講座受講後、人生観や生活態度、学業に対する考え方が変化し、将来を見据えた計画・行動がとれるようになること、学生時代に何をすべきかをよく考え、自らの能力を高める行動がとれるようになることが期待されます。

2. 授業の進め方

渡航前に計3～4回の事前講義を実施します。その後、現地に渡り、滞在期間中、多様な施設・機関・企業を訪問しながら、「絵手紙ワークショップ」を通して現地の方々と交流します。このほか、市内の文化施設などの視察を通じて、歴史や文化に触れる時間も確保します。なお、帰国後にレポートを提出することが求められます。

3. 授業計画

1. 渡航前：海外渡航に関する注意喚起、訪問先の基礎知識等に関する事前講義（3～4回）	
2. 現地滞在中：絵手紙ワークショップ開催、各所訪問（国際交流、講話受講、所内視察等）、市内視察等	
3. 帰国後：レポート提出	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

渡航先の文化、気候、地理的情報、社会情勢等を調べておくこと。また、訪問予定先の機関・企業についてウェブサイト等で情報を収集・把握し、訪問当日に質問を投げかけられるようまとめておくこと（2時間程度）。

パスポート、旅行保険、クレジットカード等の取得に関し、予め定められた期限までに各自しっかりと準備すること。日本国籍以外で、入国に際してビザが必要な学生は、然るべきタイミングで取得すること。なお、事前講義の無断欠席、ビザ取得の見込みなし等の事情が明らかになった場合、当該年度の参加を諦めてもらうことがあります。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

帰国報告会にて意見交換等を実施します。

6. 授業における学修の到達目標

講義やゼミのような通常の座学では得られない経験を得ることで、改めて日本を客観的に見つめると同時に、より広い国際的視野を持ち、多くの人々とコミュニケーションを図れる能力を養成します。また、将来に対して積極的に考え、計画し、行動できるようにします。

7. 成績評価の方法・基準

事前講義への参加状況(70%)、帰国後のレポート(30%)の提出等の状況を見て、総合的に評価します。

8. テキスト・参考文献

事前講義や現地訪問先で配布される資料を用います。

9. 受講上の留意事項

- ①訪問先や実施時期は別途告知し、実施にあたっての事前説明会を行う予定。
- ②費用は、渡航費、宿泊費、各種視察費等で、合計 30 万円前後（参加人数により変動し、飲食代・娯楽代等は除く）を予定しています。
- ③人数が 10 名に満たない場合は本講座を催行しない場合があります。

10. 実務経験のある教員等による授業科目

該当します。本授業は、金融機関、製造業、サービス業界において海外勤務を含む実務経験を有する教員が指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。